

令和6年度第1回広島市環境審議会 議事要旨

1 日時

令和7年2月5日（水）午前10時～午前11時45分

2 場所

中区地域福祉センター ボランティア研修室（大手町平和ビル5階）

3 出席者

(1) 委員

西嶋 渉（会長）、田中 貴宏（副会長）、井原 美恵子、沖村 理史、奥野 泰識、新宮原 充、鉄村 忠基、土井 徹、徳本 博志、内藤 望、中西 伸介、縄手 淳子、松川 太一、水口 弘土、吉田 悦子（以上15名）

(2) 事務局（市）

市長、環境局長、環境局次長、環境政策課課長補佐、温暖化対策課長、環境保全課長、農政課長、農政課鳥獣対策担当課長、農林整備課森づくり担当課長、水産課長、緑政課花と緑の施策担当課長、計画調整課長

4 次第

(1) 開会

(2) 局長挨拶

(3) 議事

報告1 第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和5年度）について

報告2 広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和5年度）について

(4) 諮問

(5) 議事

議題 第4次広島市環境基本計画の策定について

(6) 閉会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0名

7 会議資料

○ 令和6年度第1回広島市環境審議会 次第

○ 令和6年度第1回広島市環境審議会 配席表

○ 広島市環境審議会委員名簿

○ （報告1）第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和5年度）について

- （報告２）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和５年度）について
- （参考資料１）広島市地球温暖化対策実行計画（令和５年３月）に掲げる施策の実施状況一覧表
- （参考資料２）市域の温室効果ガス排出量（令和３年度確定値及び令和４年度速報値）
- （議事資料）第４次広島市環境基本計画の策定について
- （参考資料３）広島市環境審議会の今後のスケジュールについて

８ 議事要旨

発言者	発言要旨
西嶋会長	・ 「（報告１）第３次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和５年度）について」及び「（報告２）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和５年度）について」、事務局から説明をお願いします。
環境政策課課長補佐	【報告１ 第３次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和５年度）について説明】
温暖化対策課長	【報告２ 広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和５年度）について説明】
西嶋会長	・ 事務局からの説明について、御意見、御質問等はないか。
土井委員	・ 報告１について、目指すべき方向に向かっていない指標等の数が令和４年度から令和５年度にかけて変わっていないが、項目も変わっていないのか。入れ替わりはないのか。
環境政策課課長補佐	・ 入れ替わりはない。
井原委員	・ 報告１の項目番号１８「中山間地・島しょ部の人口減少率」について、将来、少子高齢化による税収減少やライフラインの維持更新にかかる費用が増加することを見据えて、市内中心部に人を集めるコンパクトシティを推進している都市がある。中山間地や島しょ部に人を呼び込むことはコンパクトシティの概念と相反すると思うが、大丈夫なのか。
環境政策課課長補佐	・ 第３次広島市環境基本計画の指標等は、担当課とも協議の上で設定しているため問題ない考える。御意見については担当課へ伝える。
新宮原委員	・ 報告１の項目番号４３「容器包装プラスチック・ペットボトルの資源化率」について、要因に施設選別の見学を積極的に誘致したとあるが、ひろしま市民と市政等でそのような広報を見たことがない。広報を充実させてほしい。 ・ 資源化率が増加した要因として、障害者雇用により残渣となっていたペットボトルを資源化する取組を行ったためとある。確かに障害者雇用は大切だが、ペットボトルのキャップやラベルを外して、水洗いをしてからごみに出す、というごみ出しのルールを守っていない市民がいることがそもそもの問題であり、目指すべき方向に向かった要因として障害者雇用による残渣への対応を挙げるのはいかがなものか。まずは、ごみ出しルールの周知徹底を図るべきだ。 ・ 実際に選別施設の見学をしたが、職場環境が気になった。市民がごみ出しのルールを守れば職場環境も良くなり従業員に長く働いてもらえると思う。

発言者	発言要旨
環境政策課課長補佐	委員御指摘のとおり、市民にごみ出しルールを徹底してもらう必要がある。御意見については担当課へ伝える。
縄手委員	報告１の項目番号２２「公共交通機関全体の利用者数」について、電車・バスの運賃の値上げが続いている。広電白島線は市内線と同じ運賃となった。家族で出かける際に、電車やバスを往復で利用するより、駐車場代やガソリン代を考慮しても自家用車を使う方が安く済むようになったため、特に荷物があるときには公共交通機関の利用が遠のいてしまっている。公共交通機関の利用が促進されるよう、市の補助の拡充や利便性の向上等について検討してほしい。
環境政策課課長補佐	御意見については担当課へ伝える。
中西委員	報告１の項目番号４０「鉄道騒音（新幹線）」について、昨年度の審議会でも質問したが、目指すべき方向に向かっていない要因は鉄道工事の影響なのか、周辺での工事の影響なのか。周辺での工事の影響であるなら、鉄道騒音という項目ではなく、切り分けて報告すべきである。今の報告では、鉄道工事ではなく周辺工事の影響であっても、鉄道事業者に原因があるように見える。
環境保全課長	この指標等が目指すべき方向に向かっていない要因は、鉄道工事でも道路工事でもなく、令和３年度から令和５年度にかけて行われた大規模工事の影響によるものである。ただし、この大規模工事は令和６年７月に完了したため、今後この工事の影響は回避できるものと考えている。
中西委員	報告２のＫＰＩに「住宅の照明について、８割以上、ＬＥＤ照明を導入している市民の割合」「照明について、ＬＥＤ照明を導入している事業所の割合」が掲げられている。「水銀に関する水俣条約」の合意により、令和９年末で蛍光灯の製造は中止となる。令和１２年度の中期目標は、蛍光灯の製造中止から３年経つので、達成されるだろう。今後、市場から蛍光灯がなくなりＬＥＤ照明だけの流通となるが、そのような事情がある項目を施策の成果としてカウントすることについて、どのように考えているか。
温暖化対策課長	確かにＬＥＤ照明の導入率は１００％に向かっていくものではあるが、現在蛍光灯を使っている住宅や事業所においては、蛍光灯が壊れてから順次ＬＥＤ照明に交換していくと考えており、そのような状況の中でどれだけ導入が進んでいるかをこのＫＰＩで評価していくものである。
中西委員	ＬＥＤ照明の普及速度を見ていく、ということか。
温暖化対策課長	そのとおりである。
井原委員	同じく報告２のＫＰＩの「住宅の照明について、８割以上、ＬＥＤ照明を導入している市民の割合」について、高齢者に聞いてみると、ＬＥＤ照明の導入はお金の問題というより、照明を取り換えることが大変だから難しいとのことであった。照明の取換えに当たってお手伝いしてもらえる制度があったらありがたい。
温暖化対策課長	御意見については参考にさせていただく。
田中副会長	報告１の項目番号２「森林面積」について、森林面積が約２，０００ｈａも

発言者	発言要旨
	増加したとのことだが、その要因は何か。 ・ 報告１の項目番号４７「救急搬送熱中症患者数」について、昨年度の審議会でも質問をしたが、気温が上がることで熱中症患者数が増えるような関係になっているか。
農林整備課森づくり担当課長	・ 項目番号２「森林面積」の増加について、住宅団地等の大規模開発が鈍化しているのは要因の１つに挙げられると思うが、なぜ３％も森林面積が増加したのかについては県に確認しているところである。
田中副会長	・ 集計や測量の方法が変わったのではないか。
農林整備課森づくり担当課長	・ その点も含めて確認する。
温暖化対策課長	・ 項目番号４７「救急搬送熱中症患者数」について、熱中症患者が増えている直接的な要因が気温上昇によるものかというのはわからないが、昨年の夏も異例の暑さであったことは御記憶のとおりである。危険な暑さへの対応として、気候変動適応法の改正によりクーリングシェルターを指定できる規定が設けられた。本市ではクーリングシェルターとして市有施設で１０８施設、民間施設で６０施設を指定しており、熱中症特別警戒アラートが出るような状況であれば、これらの施設に避難し、積極的に自分の身を守っていただくよう市民に働きかけを行っている。この新しい制度の開始により、救急搬送熱中症患者数は減少に向かっていくのではないかと考えている。
田中副会長	・ そのような対策を行ってもらうことは重要である。 ・ 全国的な統計データを見ると、平均気温が高い年の熱中症患者数は多くなっているため、その年の平均気温の影響が出ていると思う。このため、救急搬送熱中症患者数が上がった下がっただけであまり評価しないほうが良いかもしれない。評価の方法について検討してほしい。
温暖化対策課長	・ 御意見等については検討させていただく。
西嶋会長	・ まもなく市長が来られるので、報告１及び報告２の審議はいったん終了する。
市長	【入室】
西嶋会長	・ 市長が来られたので、諮問に移る。
司会	・ 第４次広島市環境基本計画の策定に当たり、諮問書をお渡しする。
市長	【諮問書を読み上げ、西嶋会長に手渡す。】
司会	・ 市長は公務の都合により、ここで退席させていただく。
市長	【退室】
西嶋会長	・ それでは、「第４次広島市環境基本計画の策定について」事務局から説明をお願いします。
環境政策課課長補佐	【第４次広島市環境基本計画の策定について説明】
西嶋会長	・ 事務局からの説明について、御意見、御質問等はないか。報告１及び報告２についても、御意見、御質問等を受け付ける。
西嶋会長	・ 環境像や環境区分は第３次計画から変更なしとのことである。第３次計画を

発言者	発言要旨
	策定してから4年が経過し、社会情勢や国際的な取組には様々な変化が起きているが、それをどのように第4次計画に反映するのが大切だと思う。第3次計画を策定する際にはあまり重要視していなかった項目や考え方だが、4年経過した現在、第4次計画の策定においては力を入れないといけないと考えているものには何があるか。
環境政策課課長補佐	国の第六次環境基本計画で新たに示された「ウェルビーイング」の観点や、生物多様性国家戦略で示されている「ネイチャーポジティブ」の観点をどのように取り込むかは、第4次計画策定に当たってのポイントになると思っている。
西嶋会長	- 生物多様性国家戦略だけでなくプラスチックや地球温暖化に関する国の計画も2030年が1つの節目の目標年となっている。市の第4次計画も計画年度が2030年度までであることから、国の計画との整合を取りながら策定を進めてもらいたい。 - 報告1の項目番号12「イノシシ等による農林業等に係る被害額」について、環境区分は自然環境となっているが、現実的には都市環境や生活環境の要素も含まれている。これまではイノシシ等を駆除して数を増やさないという対応でよかったが、今では増えすぎた野生動物をどうやって管理して我々の生活と調和させていくか、という問題に変わってきていると思う。環境区分がまたがる項目について、どのように第4次計画に反映するかの検討が必要と考える。
環境政策課課長補佐	有害鳥獣対策は本市の大きな課題の1つと考えている。環境区分がまたがる項目の反映方法について検討したい。
西嶋会長	地球環境はこの4年間で取り組むべき問題が大きく変わってきていると思う。地球温暖化は気候変動と合わせて依然非常に重要な問題である。一方で、現在では、オゾン層や酸性雨よりも海洋プラスチック汚染問題の方に力点を置かなければいけない状況に変わってきている。大きな枠組はこの議事資料のとおりでいいと思うが、その中身については今の状況に合わせる必要がある。
環境政策課課長補佐	御意見については参考にさせていただく。
井原委員	市民感覚では「環境＝ごみ」である。私の町内会はごみステーションでごみを回収しているが、隣の町内会は戸別収集が増えている。前にニュースで、戸別収集が年に千件ずつ増えており、全戸戸別収集をするとコストが倍になると聞いた。今後人口減少で税収も減ると見込まれる中、ごみの収集にかかる経費が増えるのは心配であり、その改善策としてごみ袋の有料化が考えられる。ただ、今の広島市のいいところはごみ袋として紙袋でもビニール袋でもどのような袋でも使えるところである。今から戸別収集が減るとは思えないし、市のごみ減量の呼びかけも誰も見ていないと思うが、どのようなごみ袋でも毎日収集があるのはありがたいことであり、これからも今までどおりのごみ収集をしていただけるようお願いしたい。ごみ袋が有料化になると市民は困る。
環境政策課課長補佐	効率よくごみの収集を行えるステーション収集が原則ではあるが、ごみステーションへの排出が困難な人のために戸別収集も行っており、その割合が増え

発言者	発言要旨
	てきている。 ・ ゴミ袋の有料化は慎重に検討していかなければならないと考えている。
水口委員	・ 報告１の項目１「カキ養殖生産量」について、カキの養殖に当たって用いられるフロートやいかだの緩衝材等が海洋汚染につながっていると考えられているが広島市の認識はどうか。 ・ 報告１の項目１２「イノシシ等による農林業等に係る被害額」について、要因にシカ、サル、イノシシが挙げられているが、全国的にはクマも問題となっている。広島市ではクマの人的被害はまだ出ていないと思うが、クマに対してどのように対応されるつもりか。
水産課長	・ カキ養殖に用いるプラスチックパイプ等の流出がよく問題となっているが、カキ業者の方では、新たに人を付けてそれを回収する取組を行ったり、壊れにくいフロートに変える試験を行ったりしているところである。また、県漁連がフロートの再利用施設を作り、再利用に向けた取組も進めている。市としてもカキ業者のこのような取組を支援しながら、なるべくプラスチックが流出しないよう対応を行っているところである。
農政課鳥獣対策担当課長	・ クマの出没は近年増えている。出没情報が寄せられた時には、必ず区役所職員が現地に入り、出没状況の調査をし、必要があればまずは追い払い、花火等で出てこないよう脅しをかける、といったことを行っている。ただ、それでもなお出没が続くようなら、捕獲をやらざるを得ない状況である。出没が増えていくようなら、捕獲を強化していかなければならないと考えている。
内藤委員	・ 第４次計画策定に当たって可能かどうかわからないがアイデアとしてお伝えする。第３次計画では指標等が５２項目掲げられているが、これらは数値の把握が容易にできるものばかりであり、数値化できない内容は状況を把握できない。令和５年度に目指すべき方向に向かった指標等は約７５％との報告があったが、項目数の割合だけで意味があるのだろうかとの疑問が残る。例えば、各指標等の重要度を反映させて、それぞれの指標等に３段階の重みを付けるなどの工夫も考えられるのではないか。 ・ また、毎年数値を把握できる指標等と毎年把握できない指標等にあらかじめ分けておけば、報告の際に、もともと把握できないものなのか、何か理由があって把握できなかったのか区別がついてわかりやすくなると思う。
環境政策課課長補佐	・ 御意見については検討させていただく。
西嶋会長	・ 目指すべき方向に向かった指標等の割合として出された数値がどのくらい意味があるのか、これをもって全体的な進捗状況の評価をするのは難しい。次の審議会では、数値化できない内容等も含めて、どのような取組状況か、どの程度進んでいるのかを担当の主観的なものでいいので表にまとめるなどして、全体的な進捗状況がわかるように報告することを検討してほしい。
沖村委員	・ 第４次計画の「５ 計画の基本目標及び施策の方針」の※に書かれている国の第六次環境基本計画や生物多様性国家戦略以外にも、２０３０年目標にはエ

発言者	発言要旨
	エネルギー基本計画や国連気候変動枠組条約の国が決定する貢献、昆明・モントリオール生物多様性枠組などがある。また、海洋プラスチック問題への対応やポストSDGsについても動きが出てくるだろう。これらの国際的な取組や動向についても視野に入れてほしい。 ・ 広島市環境基本計画は、国際社会の一員として、市がどのように環境に関して考えているかを示すものである。基本目標や施策の方針を設定する際には、国際社会の流れを後追いするのではなく先取りして、新しい項目を取り入れてほしい。
環境政策課課長補佐	・ 御意見については参考にさせていただく。
土井委員	・ 報告1で目標に向かっていない指標等の項目は令和4年度も令和5年度も変わっていないとのことであった。予算やマンパワーが限られている中で、どうすれば効率的に施策を推進していけるかが問題である。例えば、島根県美郷町で行われている先進的な害獣対策として、住民が主体的に、害獣の住処をなくすといった自分たちでできるような取組を行っている。他都市のこのような先進的な取組を参考にされたい。 ・ 報告1の項目13「自然との触れ合い施設等の利用者数」と項目14「自然との触れ合い事業の参加者数」について、市民とコラボレーションして何かできないだろうか。まずは、こういう施設や事業なら行きたい、と思う市民のニーズを把握することが必要である。 ・ 報告1の項目番号18「中山間地・島しょ部の人口減少率」について、県外から広島市内の中山間地・島しょ部へ人を呼び込む取組を行っているようだが、県内にも需要があると思う。県内向けの広報を見たことがないので、周知を検討してはどうか。
環境政策課課長補佐	・ 御意見については参考にさせていただくとともに担当課へ伝える。
井原委員	・ 以前、平和大通りの街路樹の倒木があった。平和大通りだけでなく、道路や公園に生えている木が大きくなり過ぎて電線に届いているものや、根っこが出ているものを見かける。樹木医が定期的に巡回し観察してほしい。 ・ 道路沿いの花壇に花が植えてあり協賛者もいる。とても素敵で嬉しく思う。
緑政課花と緑の施策担当課長	・ 来年度から2か年かけて、街路樹の状態を調査し、植替えができるかどうかの指標を作ることとしている。
水口委員	・ 報告1の項目番号1「カキ養殖生産量」について、生産量の維持という指標等はこのままでいいと思う。ただ、カキ養殖による海洋プラスチック汚染は、プラスチックを使わないいかだを用いなければ、なかなかなくなるのだろうと思う。現在の指標等は残しつつ、新たに、カキ養殖によって生じる海洋プラスチック汚染に係る指標等を加えることを検討してほしい。養殖には触れているのに、それに伴い生じる海洋汚染に触れていないのはいかがなものか。
環境政策課課長補佐	・ 御意見については検討させていただく。
西嶋会長	・ 産業として広島のカキを盛り上げないといけないという面がある一方で、広

発言者	発言要旨
	島湾は県東部の海域に比べ漁業関係のプラスチックの割合が非常に高いという面もある。産業振興と環境保全のバランスが大切であって、片方の指標等だけで評価をするのはどうかという御指摘だと思う。これに限らず他の指標等も同じことが言えるだろう。
田中副会長	・ 「ウェルビーイング」「ネイチャーポジティブ」は重要な考え方なので、第4次計画へしっかり反映してほしい。 ・ 第4次計画の環境区分が4つに分かれているが、1つの施策の方針が複数の環境区分に交わっているものもあり、その境界部分が大切になるのだと思う。行政の立場からすると区分をはっきり分けておいた方がやりやすいのだろうと思うが、境界部分を意識しながら第4次計画を策定してもらいたい。
西嶋会長	・ 第4次計画では、境界部分がわかるような書きぶりになればいいと思う。
環境政策課課長補佐	・ 複数の環境区分にまたがる施策の方針について、表現の仕方を検討したい。
西嶋会長	・ 他にないようであれば、本日の会議を終了する。今回の審議会の議事について追加の御意見等あれば、2月14日までに事務局宛連絡してほしい。